

**イベント音響からスタジオ・自宅での音楽制作や配信まで対応する  
 ラインアップで最も軽量・コンパクトなデジタルミキサー  
 ヤマハ デジタルミキシングコンソール『DM3』 『DM3 Standard』**

ヤマハ株式会社は、プロフェッショナルオーディオの新製品として、ヤマハデジタルミキサー史上、最も軽量で持ち運びやすいコンパクトな筐体ながら、ライブ演奏やイベント、中・小規模のプレゼンテーション、自宅でのレコーディングなど幅広い用途に対応するデジタルミキシングコンソール『DM3』『DM3 Standard』（品番:DM3S）を2023年4月以降順次、I/Oラック『Tio1608-D2』を2023年9月に発売します。



**デジタルミキシングコンソール『DM3』『DM3 Standard』**  
 ※背面端子を除く外観は同仕様

今回発売する『DM3』『DM3 Standard』は、ライブなどのイベント会場や、様々な固定設備、スタジオや自宅での録音や音楽制作・配信に至るまで幅広い用途に対応するデジタルミキシングコンソールです。最大96kHzのサンプリングレートに対応し、高品位な18種類のエフェクトを2系統搭載、豊富なプリセットによる短時間でのセットアップのサポート、9インチのタッチスクリーンによるシンプルで直感的な操作性など卓越した性能を、軽量・コンパクトな筐体に凝縮しています。また、設定用の「DM3 Editor」や遠隔操作が可能な「DM3 StageMix」などのアプリケーションも用意しました。さらに、スタジオ・自宅での音楽制作や配信を高品質で行うための、様々な機能群を備えています。『DM3』は、多チャンネルを1本のケーブルで伝送可能なオーディオネットワーク規格「Dante」に対応したモデルです。『DM3 Standard』は「Dante」非対応である以外は『DM3』と同じ仕様です。

品名	モデル名 (品番)	価格	発売時期
デジタルミキシングコンソール	DM3	オープン価格	2023年9月
デジタルミキシングコンソール	DM3 Standard (DM3S)	オープン価格	2023年4月
I/Oラック	Tio1608-D2	オープン価格	2023年9月
ラックマウントキット	RK-DM3	オープン価格	2023年5月

## < 『DM3』 『DM3 Standard』 主な特長 >

### 1. 多彩な機能・性能を軽量・コンパクトな筐体に凝縮

#### ● 軽量・コンパクトで持ち運べる筐体

『DM3』 『DM3 Standard』 は、厳選した素材と精密な設計により、質量 6.5kg の軽量化と、幅 32cm・奥行 45.5cm・高さ 14cm のコンパクトな筐体を実現しています。



#### ● サウンドエンジニアの創造性を高める 18 種類のエフェクトを内蔵

ヤマハミキサーでは初めてとなる「REV HD」「REV R3」を含む 18 種類の高品位なエフェクトを内蔵した 2 基のマルチエフェクトプロセッサを搭載し、サウンドエンジニアの感性を反映する音作りを実現しました。また、操作は、マルチタッチコントロールを備えた 9 インチのタッチスクリーンを中心に、1 つのタッチ&ターンノブでシンプルに完結するので、ストレスのない音響調整が可能です。



#### ● 短時間でのセットアップを実現する「QuickPro Presets™」

マイクメーカーやインイヤーマニターメーカー、サウンドエンジニアと協業して多様なマイク・出力機器に最適化したチャンネルプリセット「QuickPro Presets™」を採用しました。「QuickPro Presets™」は、各チャンネルのゲインや EQ などのミキシングパラメーターだけでなく、チャンネルネー／カラーの設定なども含んでいます。また、入力チャンネルには、精密にチューニングしたボーカルからドラムセットまで 200 種類以上のプリセットを用意し、出力チャンネルには、様々なスピーカーやモニターヘッドホン・イヤホンに対応したプリセットを備えているので、使い始めてすぐのユーザーでも、理想的なセットアップを短時間で行えます。

#### ● オーディオネットワーク規格「Dante」に対応（『DM3』のみ）

『DM3』はオーディオネットワーク規格「Dante」に対応し、サンプリングレート 96kHz の高音質伝送を低遅延で実現します。同じく「Dante」対応の I/O ラック「Tio1608-D2」と組み合わせることで、シンプルかつ高速なシステムの構築が可能です。



※ 『DM3 Standard』の「Dante」非対応以外の仕様は『DM3』と同一です。

#### ● あらゆる現場に対応するための豊富なアプリケーション

オフラインでも設定や編集が可能で、本番前にある程度の設定を済ますことのできる Windows/Mac 対応の「DM3 Editor」や、直感的なインターフェースで『DM3』 『DM3 Standard』を遠隔操作することでステージ上からでもサウンドエンジニアが音響調整できる iPad 向けの「DM3 StageMix」、出演者ごとにモニターを調整可能な iOS/Android 端末用の「MonitorMix」など、豊富なアプリケーションを用意しています。



## 2. 高品質のライブ配信を容易に実現

### ●充実したストリーミング機能群

『DM3』『DM3 Standard』は、アナログ 16 入力・8 出力と USB 端子を搭載しており、入力音声のミキシング後、配信ソフトを立ち上げた PC へ直接出力することが可能です。また、ステレオやマトリクスなどのオーディオルーティングの自由度が高く、現場用と配信用の音声を別々にミキシングすることもできます。



### ●柔軟なパッチ設定

音声の入出力パッチは自由に変更することができます。場所・場面に合わせた細かな変更にも対応できるため、イベントの準備が終わった後などでも簡単に修正可能です。

## 3. 充実の録音・編集機能

### ●音楽制作を効率化する「DAW リモート」

他の DAW（デジタルオーディオワークステーション）と組み合わせて使用する際、『DM3』『DM3 Standard』を音量調整や再生、停止などの操作を本機のフェーダーやボタンを物理的なコントローラーとして使用することができます。

### ●モニターレベルの正確なコントロール

『DM3』『DM3 Standard』は、モニターレベルをフェーダーでコントロールでき、よりスムーズで正確なミックスバランスの確認が可能です。また、カスタムフェーダー機能を使ってモニターレベルのコントロールを割り当てたり、ソースを切り替えて個別に音量調整したりすることもできます。



### ●音楽制作ソフト「Cubase AI」を付属

スタインバーグ社の音楽制作ソフトウェア「Cubase AI」が付属しており、購入したその日からダウンロードして音楽制作や音声編集を行えます。

### ●複数の記録方法

『DM3』『DM3 Standard』は、USB to Host によるマルチトラックレコーディングに対応しており、また、本機前面の USB コネクタに USB デバイスを接続することでシンプルな 2 トラックレコーディングが可能です。また『DM3』は、「Dante Virtual Soundcard」（別売）を使用したマルチトラックレコーディング機能にも対応します。



#### 4. ユーザーサポートやアクセサリ・外部オプションなどの拡張性

- ユーザーに最適な設定を提供

『DM3』 『DM3 Standard』は、適正なゲイン設定を視覚的にサポートする「GainFinder™」や、複数のパラメーターを1つのノブでコントロールできる「1-knob COMP™」「1-knob EQ™」などを搭載し、セットアップの時間短縮をサポートします。

- 別売の「RK-DM3」を使った柔軟な設置に対応

別売のラックマウント用アクセサリ「RK-DM3」を使い、標準的な19インチラックに13Uで設置が可能です。



- 遠隔操作のための豊富な外部オプション

『DM3』 『DM3 Standard』は、ソフトウェア「ProVisionaire」に対応し、遠隔操作や設置場所のモニタリングのニーズに合わせてコントロールパネルを作成することができます。また、汎用通信プロトコルであるOSC（Ethernet 経由）、MIDI（USB 経由）にも対応しているため、状況に応じた遠隔操作が可能です。



デジタルミキシングコンソール 『DM3』 『DM3S』  
※背面端子を除く外観は同仕様

< 『Tio1608-D2』 >

オーディオネットワーク規格「Dante」に対応した16マイク/ライン入力、8ライン出力を備えたI/Oラックです。「Quick Config」により、『DM3』や「TFシリーズ」から素早くゲインの設定ができます。また、96kHzの音声伝送にも対応し、デジタルミキシングシステム「RIVAGE PMシリーズ」やシグナルプロセッサ「DME7」と組み合わせて大型の設備音響で使用することも可能です。



I/Oラック『Tio1608-D2』

< 『DM3』 主な仕様 >

モデル名		DM3	DM3 Standard
インプットミキシングチャンネル		16 mono + 1 stereo + 2 FX return	
入出力	アナログ入力	16 マイク/ライン (12 XLR + 4 XLR/TRS Phones Combo)	
	アナログ出力	8 (XLR)	
	Dante	2 (etherCON : Primary/Secondary)	—
	USB TO HOST	1 (USB Type-B, USB2.0)	
	USB TO DEVICE	1 (USB Type-A)	
	その他	Network : 1 (RJ-45)、Phones : 1 (TRS Phones)、DC : 1 (XLR 4pin, DC power IN)	
サンプリング周波数		96kHz/48kHz	
電源電圧		DC24V/2.5A、PA-L500 (100V~240V、50Hz/60Hz)	
消費電力		43W	
寸法 (W×H×D)		320×140×455 mm	
質量		6.5kg	
温度範囲		動作温度範囲 : 0 ~ 24℃、保管温度範囲 : -20 ~ 60℃	
同梱品		取扱説明書、電源アダプター (PA-L500、電源コード含む)、 「Cubase AI」ダウンロードインフォメーション	

詳細については、ヤマハプロオーディオ製品サイトをご覧ください。

<https://jp.yamaha.com/products/proaudio/mixers/dm3/index.html>

<https://jp.yamaha.com/products/proaudio/interfaces/tio1608-d2/index.html>

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL. 03-5488-6605  
ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/) (問い合わせや画像ダウンロードが可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター  
[https://jp.yamaha.com/support/contacts/av\\_pa/](https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/) (Web フォームよりお問い合わせが可能です)